

第3回学校運営協議会 意見交流会～PTA役員、学校支援本部員と共に～

- 1 ねらい — 教育は人 —
学校を支える様々な組織と先生方との信頼関係が基盤、
その基盤を作りましょう。
- 2 テーマ ① PTAから見た学校運営協議会、学校支援本部、そして学校（教員）
 ② 学校運営協議会等への要望

交流会の様子



発表タイム



進行：峯岸 誠CS委員（中央）

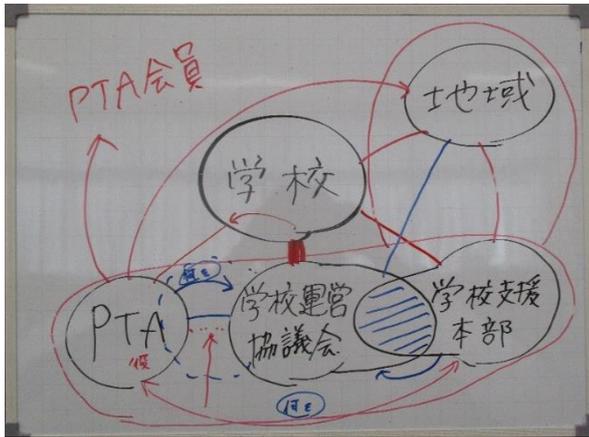


意見交流タイム



まとめタイム 担当：山中副校長

グループ発表より

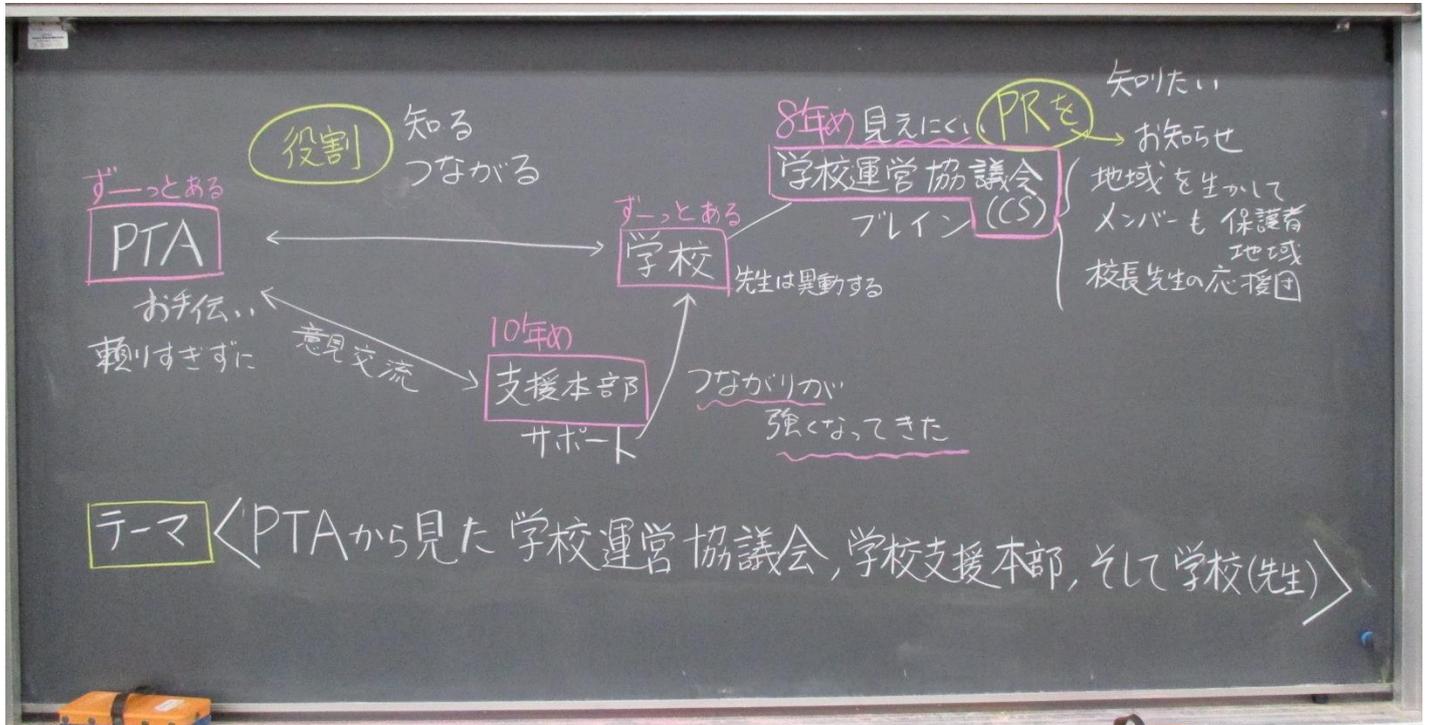


テーマ①
 CS 学校と校長先生の向き合
 合議で決める。
 校長先生と学識経験者などが決める。
 (注) PTA 08.09の学校運営協
 議会 グリーニキーパー
 図書支援、先生や心回らない所を
 教育のありたい 職場体験。
 PTA活動も毎年変わってない。
 その年によって状況も違うので。

CS: 学校運営協議会 学校支援本部 PTA
 ① 地域を中心とした校長先生の応援団 (サポーター) 校長は堀小が初めてきた。(8年前)
 学校からの提案 → CS → 支援本部 → PTA
 活動が見えにくい (一般的に保護者のイメージ)
 見え化しよう!
 例: 校内に顔写真入りの活動報告を掲示する

支援本部、グリーンキーパー、読み聞かせ
 CS. としな学校にしていきたいか。そのための話し合いが必要か。学校を支えていくためのアレン。
 地域の子供のための地域に根付いた教育活動。現在10名の学識経験者。
 希望 保護者にも知らせよう。お祭り年1回なので、もし運営方針がかわるとPTAの意見も入れたい。CSの活動を知らせてあげよう。

まとめ



- ・地域運営学校 (CS) として8年目となり、地域とのつながりが強くなってきた。(組織的な成果)
- ・教職員は異動があるけれど、学校・地域・人(子供、保護者)はずっとここにあり続ける。
- ・これからもずっと堀之内小を支えていくために、組織として、① **学校運営協議会** (校長先生の学校経営の応援団)、② **学校支援本部** (教育活動のサポート・マネジメント)、③ **PTA** (家庭と学校との連携や教育活動を支える行事・取組のお手伝い等) の役割を知り、互いにに関わり合い、助け合っていくことが大切である。
- ・各組織がPR活動を工夫して実践をもっと知らせていくことが必要である。